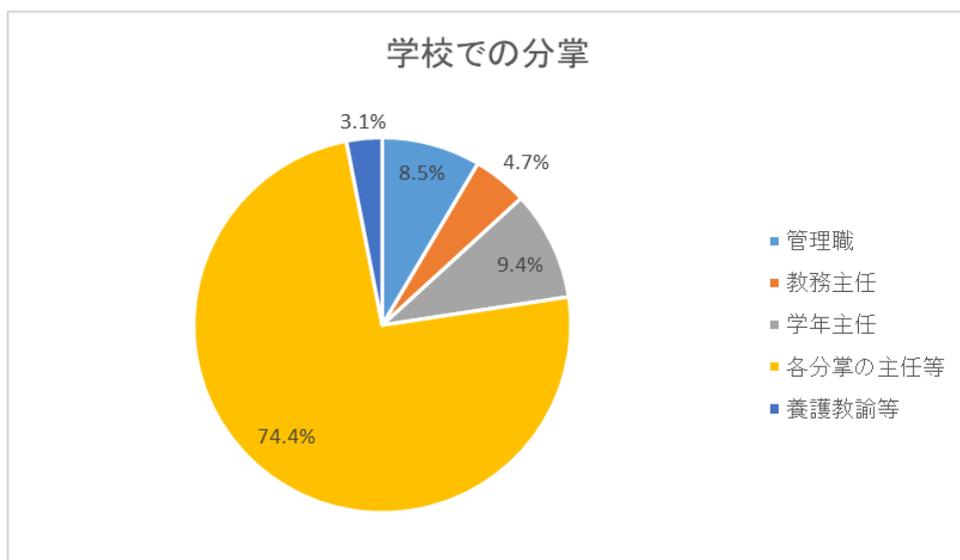
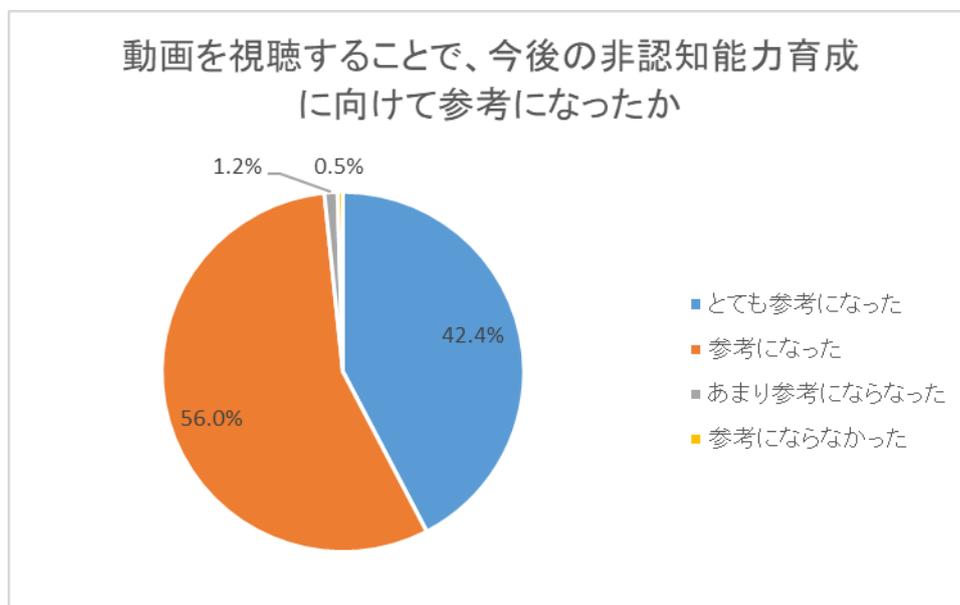
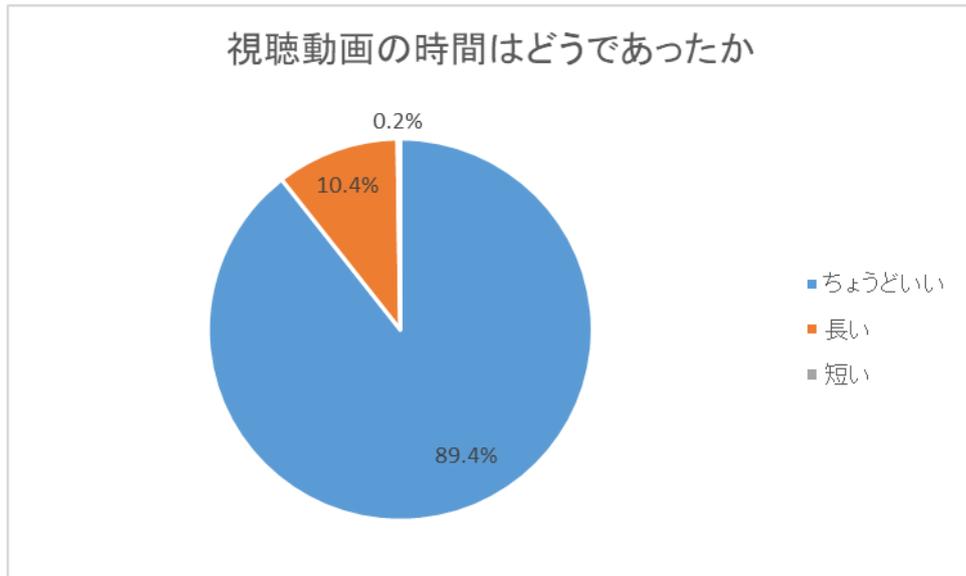


令和6年度 教育課程研修会アンケート結果

○回答数 425名



【感想】

- ・職員全体で視聴でき、非認知能力育成のための共通認識ができた。
- ・学校教育目標を意識していますが、具体的な児童の行動を想像していこうと思いました。
- ・動画の研修なので学校の都合で視聴できて、時間も手頃で、ありがたかったです。
- ・知識・技能は認知能力、主体的に学習に取り組む態度は非認知能力、思考力・判断力・表現力はどちらにも関わってくるというご示唆は、今後の非認知能力の育成に向けた取組への方向性を示していただくものでした。学校教育目標についても今後、検討していきたいと思います。
- ・特別支援学級の子どもたちは、特に非認知能力をつけることで学習意欲も高まると思うので、学校生活の中で非認知能力をつけさせたいと思いました。
- ・自分自身の指導を振り返ると、集団としての規律や雰囲気をよくすることばかりを心がけていました。個を育てる、違いを大切に作る、粘り強く取り組ませるなどの部分の指導も取り入れながら指導をしていきたいと思います。
- ・日々の学校生活の中で、非認知能力を授業の中で意識して行っていきたいと感じました。そのために、自分自身が子どもと共に成長していけるよう学び続けていこうと強く思いました。
- ・群馬県教育ビジョンについて、内容を端的に説明していただき、分かりやすかったと思います。これからの群馬県の教育が目指す方向が分かります。また、非認知能力の育成と学校教育目標との関わりについては、抽象的であった学校教育目標を、非認知能力にまで具体化し、そこから行動目標を考えていくという方法を学ぶことができて大変参考になりました。認知能力、非認知能力と評価3観点との関わりについても大変参考になりました。ありがとうございました。
- ・毎年学校教育目標を意識して自己申告書を作成していたが、それが間違っていないこと、他教員と共通理解を図りながら具体的に進めればよいことがわかり、大変勉強になった。
- ・非認知能力について、言葉は聞いたことがありましたが、恥ずかしながらよく理解していませんでした。今回の動画を通して、非認知能力について理解できました。学校教育目標を具体化して担任として自分には何ができるのか、考えて実践していきたいと思いました。
- ・非認知能力の育成は、この変化の大きい社会を生きていく子どもたちにとって、大変重要だと考えています。また、学校教育目標は抽象的な言葉で作られていることを改めて感じる事ができました。「心豊か」「たくましい」とはどういうことなのか、自分でもよく考え、子どもたちに対峙しなければと思う事ができました。
- ・非認知能力を高めるための日々の実践をチーム学校として皆で取り組んでいこうと思います。まずは、学校教育目標の共通理解からスタートしていきます。
- ・学校教育目標を具体的にして、教職員で共有して日々の指導で意識していくことは一貫性があり、とても素晴らしいことだと思いました。現在は絵に描いた餅になっているので、学校教育目標と生徒の実態や課題とを照らし合わせながら、教職員全体が同じゴールのイメージ像を持っていくことが大切だと思いました。また、重点するところを理解することで、業務のスリム化や多忙感の解消にもつながるのではないかと感じました。ありがとうございました。
- ・指導主事訪問時に指導主事より説明をいただき、理解したつもりになっていたが、最上位目標と照らし合わせて研修の手順を示唆していただけたことで、非認知能力について理解が深まりました。また、本校の学校教育目標についても改めて見直し研修したいと思います。
- ・非認知能力についてまとまっていて、わかりやすかったです。学校教育目標は抽象的で、どんな指導をしたらよいのかわかっていませんでしたが、具体的に考える事が必要であり大切だという事がわかりました。非認知能力の育成について、これから大切だということがわかったので、実践していけたらと思います。